

広報誌 おかよう

第1号〔創刊号〕

平成22年11月1日発行

発行元：岡山県児童養護施設等協議会研究部会「機能向上委員会」

平成22年度 第1回「岡養等研究部会」開催



平成22年度第1回「岡養等研究部会」が開催された児童養護施設「若松園」

平成22年4月22日、児童養護施設若松園にて平成22年度第1回目となる岡山県児童養護施設協議会研究部会が開催されました。

会には、岡山県児童養護施設等協議会に加盟する15施設から、各施設を代表する職員22名が参加し、新年度の体制や小委員会委員の選定等各議題に沿って活発に協議しました。

☆高月園長 「若い皆さんの力に期待したい」

冒頭のあいさつで岡山県児童養護施設等協議会会長でもある高月和紘園長は、「昨今の社会は非常に流れが速い。昨日当たり前だったことが次の日には通用なくなる時代だ。我々が属する児童福祉の世界も同様で、施設を取り巻く法律や制度、入所児童の特性や家族の有り様はここ数年で様変わりしてきている。それらの変化に柔軟に適応していくには、ここに集まられているような各施設を代表する若いみなさんの力に期待したい。」と今後の岡養の発展に期待を込めて熱く話されました。

平成22年度

研究部会役員並びに小委員会委員決定



【研究部会長】上田 一宣



【副部会長】田渕 勲



【副部会長兼書記】植村 聡子



【相談役】則武 直美

職員研修委員会



【委員長】鷹家 啓巳

鷹家 啓巳	岡山聖園子供の家主任児童指導員
植村 聡子	若松園児童指導員
津下 由香里	わかば園保育士
新谷 雅人	津島児童学院心理療法士
樋口 雄貴	旭川乳児院保育士
上田 一宣	玉島学園保育士
則武 直美	岡山聖園子供の家園長

「職員研修委員会 活動内容」
岡山県児童養護施設等協議会並びに同研究部会主催の研修会の企画、立案、運営及び関係する機関との共催研修会について企画・調整・運営の補助をする。
その他施設長会で示された研修事業の企画、立案、運営を行う。

調査研究委員会



【委員長】林 広海

林 広海	岡山市善隣館個別対応職員
田渕 勲	悲眼院児童指導員
浜田 友紀	岡山県立成徳学校主事
立花 正明	天心寮児童指導員

「調査研究委員会 活動内容」
県内外の先進施設及び関係諸機関の視察研修を含めた調査研究の実施と施設の活性化に向けた実態調査を行う。
児童の福祉向上と、権利擁護のために必要な情報の収集と発信を行う。

機能向上委員会



【委員長】佐藤 真貴

佐藤 真貴	南野育成園心理士
川崎 裕子	津山二葉園家庭支援専門相談員
福永 圭吾	天心寮児童指導員
津嶋 悟	若松園副園長
上田 一宣	玉島学園保育士

「機能向上委員会 活動内容」
岡山県児童養護施設等協議会として、各施設が共通で使用できる様式を検討作成し、事務の簡略化と細分化を図る。
施設の適切な運営に向けての各種マニュアルの調査検討、研究と試案の作成を行う。

児童交流委員会



【委員長】大平 竜司

大平 竜司	悲眼院児童指導員
野中 美枝	新天地育児院家庭支援専門相談員
溜谷 潔昭	みのり園家庭支援専門相談員
橋本 みのり	玉島学園保育士
神田 智代子	立正青葉学園保育士

「児童交流委員会 活動内容」
岡山県内児童養護施設間での児童交流をレクリエーション活動をととして企画、立案、運営し、施設間連携の絆を強め、児童の見聞を広めることで施設運営の活性化の一助を図る。
岡山県福祉施設卓球大会の企画、立案、運営を行う。

「第29回南野こどもまつり」が盛大に開催されました

平成22年5月15日、児童養護施設「南野育成園」において『第29回南野こどもまつり』が盛大に開催されました。

まつり当日は晴天に恵まれ、会場となった南野育成園敷地には地域の方々や招待された岡山県内の児童福祉施設の子ども達で大変なにぎわいを見せていました。

まつりは模擬店が大変充実しており、特に南野育成園名物と評判の「園長特製ラーメン」は長い行列ができて、人気の高さを示していました。



大盛況のうちにまつりを終えることができたことに対し、南野育成園の職員からは、「日頃お世話になっている地域の皆さまへのお礼の気持ちを込め、職員と子ども達とで準備を進めてまいりました。今年度はポップコーン機を新たに購入し、キャラメル味と塩バター味のポップコーンがメニューに加わりました。当日はたくさんの方々にご来園いただき楽しいお祭りとなりました。地の皆さまにますます親しんでいただきながら、今後も温かく子ども達をご支援いただければと願っております。」と本紙の取材に対しコメントを頂きました。



「第5回立正青葉学園学園祭」が盛大に開催されました

平成22年6月5日、児童養護施設「立正青葉学園」において、『うたおう！おどろう！かなでよう！』をテーマに、第5回学園祭が開催されました。

鶴山桜太鼓の皆さんによる威勢の良い太鼓の音とともにスタートし、合唱団・人形劇・ダンスなどに続き、入所児童によるバンドや職員バンドで祭りは最高潮を迎えました。



模擬店では「たこ判焼き」が大好評で、様々なゲームを取りそろえた「ゲームコーナー」も子ども達に人気を博していました。多くの学生ボランティアの協力もあり、地域や他施設の子ども達を始め、多くの方々の参加により楽しい学園祭となりました。

「今年で5回目となり、無事、盛大に学園祭が行われたことを嬉しく思っています。皆様に感謝感謝！」と青木副園長より本誌にコメントを頂きました。



平成22年度「第2回 岡養等研究部会」開催



写真は「第2回 岡養等研究部会」協議中の様子

平成22年6月24日、津山市内にある児童養護施設『立正青葉学園』にて、平成22年度第2回目となる岡山県児童養護施設協議会研究部会が開催されました。

会には、岡山県児童養護施設等協議会に加盟する15施設から、各施設を代表する職員20名が参加し、各委員会から示された協議事項についての検討と報告事項についての確認があり、新任職員研修・交流事業についての原案の決定に至りました。

「全国児童養護施設協議会 倫理綱領」策定

先日開催された「第2回 岡養等研究部会」の場において「機能向上委員会」から報告がなされましたが、平成22年5月に『全国児童養護施設協議会 倫理綱領』が策定されました。これは、全国児童養護施設協議会が、児童養護施設で生活する子どもの安心・安全を守り、養育の向上を図るために策定したものです。

すでに職員会議や園内研修等において職員への周知を図っている施設も多いとは思いますが、児童養護施設の全職員・役員が毎日の子どもとの関わりのなかで、子どもの最善の利益を追求し、養育に携わるための指針として活用されるよう期待されています。

全国児童養護施設協議会 倫理綱領

社会福祉法人 全国社会福祉協議会 全国児童養護施設協議会

原 則

児童養護施設に携るすべての役員・職員（以下、『私たち』という。）は日本国憲法、世界人権宣言、国連・子どもの権利に関する条約、児童憲章、児童福祉法、児童虐待の防止等に関する法律、児童福祉施設最低基準にかかげられた理念と定めを遵守します。

すべての子どもを、人種、性別、年齢、身体的精神的状況、宗教的文化的背景、保護者の社会的地位、経済状況等の違いにかかわらず、かけがえのない存在として尊重します。

使 命

私たちは、入所してきた子どもたちが、安全に安心した生活を営むことができるよう、子どもの生命と人権を守り、育む責務があります。

私たちは、子どもの意思を尊重しつつ、子どもの成長と発達を育み、自己実現と自立のために継続的な援助を保障する養育をおこない、子どもの最善の利益の実現をめざします。

倫理綱領

- 1、私たちは、子どもの利益を最優先した養育をおこないます**
一人ひとりの子どもの最善の利益を優先に考え、24時間365日の生活をとおして、子どもの自己実現と自立のために、専門性をもった養育を展開します。
- 2、私たちは、子どもの理解と受容、信頼関係を大切にします**
自らの思いこみや偏見をなくし、子どもをあるがままに受けとめ、一人ひとりの子どもとその個性を理解し、意見を尊重しながら、子どもとの信頼関係を大切にします。
- 3、私たちは、子どもの自己決定と主体性の尊重につとめます**
子どもが自己の見解を表明し、子ども自身が選択し、意思決定できる機会を保障し、支援します。また、子どもに必要な情報は適切に提供し、説明責任をはたします。
- 4、私たちは、子どもと家族との関係を大切に支援をおこないます**
関係機関・団体と協働し、家族との関係調整のための支援をおこない、子どもと、子どもにとってかけがえのない家族を、継続してささえます。
- 5、私たちは、子どものプライバシーの尊重と秘密を保持します**
子どもの安全安心な生活を守るために、一人ひとりのプライバシーを尊重し、秘密の保持につとめます。
- 6、私たちは、子どもへの差別・虐待を許さず、権利侵害の防止につとめます**
いかなる理由の差別・虐待・人権侵害も決して許さず、子どもたちの基本的人権と権利を擁護します。
- 7、私たちは、最良の養育実践を行うために専門性の向上をはかります**
自らの人間性を高め、最良の養育実践をおこなうために、常に自己研鑽につとめ、養育と専門性の向上をはかります。
- 8、私たちは、関係機関や地域と連携し、子どもを育みます**
児童相談所や学校、医療機関などの関係機関や、近隣住民・ボランティアなどと連携し、子どもを育みます。
- 9、私たちは、地域福祉への積極的な参加と協働につとめます**
施設のもつ専門知識と技術を活かし、地域社会に協力することで、子育て支援につとめます。
- 10、私たちは、常に施設環境および運営の改善向上につとめます**
子どもの健康および発達のための施設環境をととのえ、施設運営に責任をもち、児童養護施設が高い公共性と専門性を有していることを常に自覚し、社会に対して、施設の説明責任にもとづく情報公開と、健全で公正、かつ活力ある施設運営につとめます。

※『倫理綱領』に関する詳細は全国児童養護施設協議会のホームページでご覧になれます



児童養護施設『みのり園』
施設長：小出 勲



児童養護施設『わかば園』
施設長：松田 浩一郎



児童養護施設『立正青葉学園』
施設長：岸本 延子



児童養護施設『津山二葉園』
施設長：藤川 由香



児童養護施設『天心寮』
施設長：山本 光佐



児童養護施設『悲眼院』
施設長：高橋 昌文



児童養護施設『岡山県立玉島学園』
施設長：田邊 裕宥



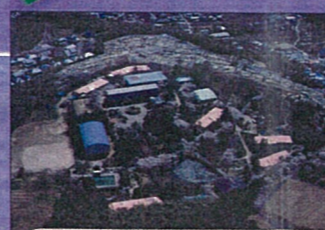
児童養護施設『南野育成園』
施設長：叶原 土筆



児童養護施設『岡山聖園子供の家』
施設長：則武 直美



情緒障害児短期治療施設『津島児童学院』
施設長：松尾 冀



児童自立支援施設『岡山県立成徳学校』
施設長：田野 洋一郎



児童養護施設『岡山市善隣館』
施設長：三宅 嗣朗



児童養護施設『新天地育児院』
施設長：梅里 伸正



岡山県児童養護施設等協議会
加盟施設紹介

『平成22年度 岡養等新任職員研修会』開催

『平成22年度 岡養等新任職員研修会』が7月15日(木)「きらめきプラザ」にて開催され、岡山県児童養護施設等協議会に加盟する11施設から29名の新任職員が参加されました。

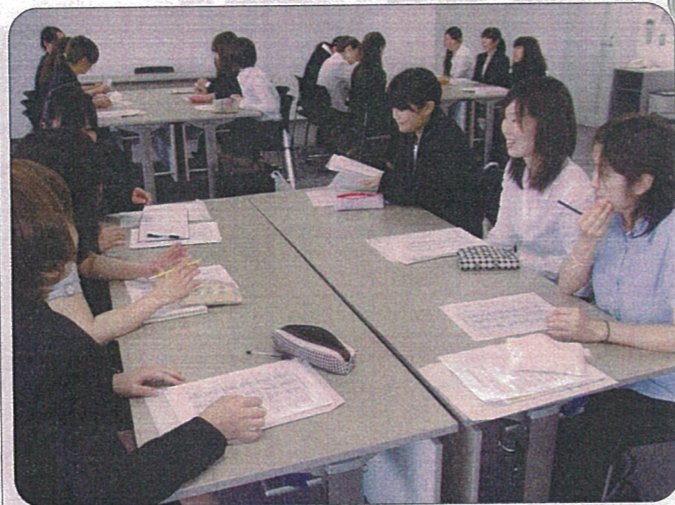
冒頭、岡山県児童養護施設等協議会高月会長より、「新任職員の皆さんが、日々の業務から少し離れたこのような場所で研修を受け、情報共有できることは大変重要なこと。しかし、情報共有するなかで自分の施設に足りないものを欲しがらばかりではなく、子どもの事を常に中心に据えて仕事ができる職員となって欲しい。皆さんに大いに期待している。」とのあいさつがありました。続いて「立正青葉学園」岸本延子園長の講義に移りました。

☆岸本園長 「子ども達が持っているキラリと光るものを引っ張り出すのが我々の仕事」

講義では、岸本園長ご自身の新任職員時代を振り返りながら、悩んだこと・取り組んだこと・感じたことなど、その時の体験を具体例を挙げて話していただきました。「新任職員の頃は子どもに何かさせようとするとうまくいかず苦しくなることが多い。そういう時は、子どもに無理やりさせようとするのではなく、出来るだけ職員が子どもと一緒にしようという気持ちが大切になる。」「何か困ったことがあったら、是非その思いを先輩職員に発信して、困った事を共有してもらおう。」「施設に来たからこそ、社会的養護の子ども達一人ひとりのキラリと光るものを引っ張り出してやれるような職員を目指そう。」など、わかりやすく穏やかな口調で話される岸本園長の講義に、新任職員達は熱心に聞き入っていました。



午前中講義を行った立正青葉学園の岸本延子園長



午後からのグループ討議の様子

『平成22年度 岡養料理教室』開催

暑かった夏休みも終わりに近づいた平成22年8月22日、県内の児童養護施設に在籍する中学生以上を対象に、『岡養料理教室』が開催されました。昨年度までは野外料理を実施してきましたが、今年度は久しぶりに岡山ふれあいセンター内の調理実習室にて、複数の中華料理に挑戦することとなりました。



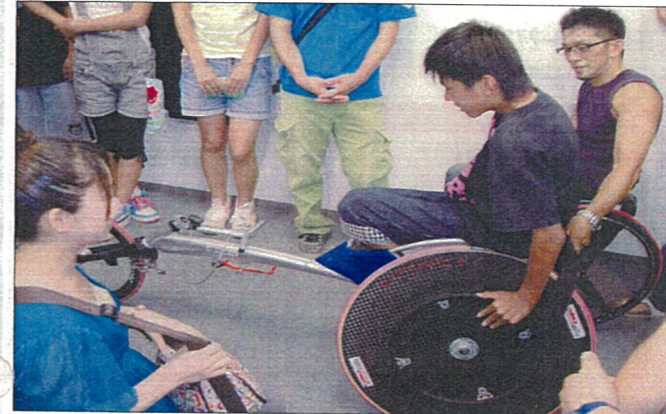
当日は8施設約40名の参加で、各施設に割り当てられたメニューは、麻婆豆腐、回鍋肉、木須肉(ムースロー)レバニラ炒め、エビチリ、炒飯、きゅうりとクラゲの酢の物、スープ、杏仁豆腐などで、調理終了後の会場は本格中華バイキングのようでした。

参加者は、自分の施設や他の施設で作った料理を一緒に食べながら、楽しいひと時を過ごしました。



北京パラリンピック代表「松永仁志選手 講演会」開催

岡山県出身で北京パラリンピック車いす陸上競技日本代表として活躍された松永仁志選手の講演会が、平成22年8月30日にきらめきプラザで開催され、県内の児童養護施設で生活している中高生60余名が松永選手の体験を聴く機会を得ることができました。



希望児童は競技用車いすに試乗させて頂きました

☆松永選手「目標をつなぎ、夢を持って生きる」

夢を持つこと、夢の実現のためには目標を立て、目標をクリアした喜びを積み重ねることで夢につなげていく。そのためには努力が必要で、「僕は誰にも負けないくらい努力をしてきたし、今も努力し続けている。」と松永選手は自信を持って熱く語っていただきました。

その姿は、参加者にとって心強く、意欲を高めるための一助になったことと思います。

奥田先生、平岡先生、おめでとうございます！！

山陽新聞社会事業団が、県と県社会福祉協議会の後援により毎年表彰している『社会福祉優良従事者』を、児童養護施設「みのり園」の奥田泰伯先生(児童指導員)、情緒障害児短期治療施設「津島児童学院」の平岡文恵先生(発達支援課長)が受賞されました。

これは県内の社会福祉関係施設の第一線で職務に励み、大きな成果をあげている人に贈られるもので、平成22年9月13日に山陽新聞社で表彰式が行われました。

両先生には、今後も我々の良きお手本として益々ご活躍される事を心よりお祈り申し上げます。

岡養等研究部会「機能向上委員会」からの報告

昨年度、岡養等研究部会「機能向上委員会」で実施した『処遇に関するアンケート』について、みなさまのご理解とご協力のおかげで、全施設から回収することができました。

中には、全ての職員を対象にアンケートを実施された施設もありました。

直接処遇職員の「子どもたちともっともっと良い関わりを持ちたい」という前向きな気持ちや、「今までの対応で果たしていいのだろうか・・・」といった迷いや不安が書かれていたり、事務や調理の職員からも積極的な意見をたくさんいただくことができました。

これらの貴重な回答は、様々な場面で日々の子どもたちへの関わり方を見直すきっかけとなるよう、広報誌や各種研修会で取り上げていきます。

情報募集中！！

この広報誌の今後の活用法や岡養の仲間達と共有したい情報やトピックスなどがありましたら、ぜひ各施設の研究部会員を通じて「機能向上委員会」までお知らせください！

「広報誌おかよう」に関するご意見・ご感想・こんな情報を載せてほしい！・こんなコーナーを作って欲しい！、といったコメントもお待ちしております。

岡山県児童養護施設等協議会 加盟施設連絡先一覧

児童養護施設

『岡山聖園子供の家』

〒700-0814
岡山市北区天神町
6-34
TEL : 086-222-4806
FAX : 086-222-4808

『南野育成園』

〒700-0962
岡山市北区北長瀬表町
2-14-25
TEL : 086-241-8018
FAX : 086-241-2819

『岡山市善隣館』

〒703-8258
岡山市中区西川原176
TEL : 086-272-2798
FAX : 086-272-2969

『若松園』

〒703-8261
岡山市中区海吉206
TEL : 086-277-2261
FAX : 086-276-6925

『新天地育児院』

〒703-8274
岡山市中区門田本町
4-2-30
TEL : 086-272-1353
FAX : 086-272-3911

『岡山県立玉島学園』

〒710-0251
倉敷市玉島長尾3729
TEL : 086-525-2020
FAX : 086-525-0404

『わかば園』

〒708-0013
津山市二宮128
TEL : 0868-28-0610
FAX : 0868-28-6620

『立正青葉学園』

〒708-0045
津山市西寺町77
TEL : 0868-22-2317
FAX : 0868-22-2319

『津山二葉園』

〒708-0822
津山市林田1695-3
TEL : 0868-24-1200
FAX : 0868-24-1201

『悲眼院』

〒714-0001
笠岡市走出1303
TEL : 0865-65-0118
FAX : 0865-65-0522

『天心寮』

〒701-2222
赤磐市町苅田25
TEL : 086-957-2010
FAX : 086-957-3788

『みのり園』

〒716-1101
加賀郡吉備中央町豊野
399
TEL : 0866-54-1028
FAX : 0866-54-1348

情緒障害児短期治療施設

『岡山県立津島児童学院』

〒700-0012
岡山市北区いずみ町3-12
TEL : 086-252-2185
FAX : 086-256-8040

児童自立支援施設

『岡山県立成徳学校』

〒703-8282
岡山市中区平井2-2572
TEL : 086-272-1268
FAX : 086-272-0205

乳児院

『旭川乳児院』

〒703-8207
岡山市北区祇園866
TEL : 086-275-4308
FAX : 086-275-6641

< 編集後記 >

この度、構想に2年を費やし、ようやく広報誌を発行することが出来ました。しかも、創刊からカラー印刷という贅沢な出発。これは、4・5面の県内施設紹介に掲載するため、「笑顔の写真を」と依頼したところ、本当に素敵な笑顔の写真が集まったことがカラー印刷への後押しとなりました。

今後は岡山県児童養護施設等協議会・同研究部会の様々な活動や、各施設での取り組みなどについても紹介していきたいと考えています。

非常に過密なスケジュールの中、ご協力いただいた各施設のみなさま方、そして広報誌の創刊に奔走した岡養等研究部会「機能向上委員会」スタッフに心から感謝申し上げます。

平成22年11月1日

「広報誌 おかよう」制作スタッフ 佐藤・川崎・福永・津嶋・上田